

認定歯科衛生士（老年歯科）申請 提出書類作成の手引 （新規申請用）

申請書類（様式1～様式8）をホームページからダウンロードしてください。

・すべての書類を A4 版に統一してください。（サイズの大きい書類は A4 縮小すること）

・提出書類はひとつの PDF ファイルにまとめてください。

ファイル名「氏名-認定歯科衛生士-新規申請」

※郵送での提出も可能です。

<様式1>

必要事項を記載してください。

<様式2>

すべて西暦で記載してください。

<様式3>

氏名 と 会員No. のみ記載してください。

その他の項目は、書類提出後に事務局で日本歯科衛生士会に照会いたします。

<様式4>

研修施設で発行を受けてください。

<様式5>

- ・「記載上の注意」を参考に、2枚以内にまとめること。
- ・審査当日にプレゼンテーションする症例・事例について作成すること。
- ・症例・事例の報告を通じて、申請者（歯科衛生士）の経験や実績、職能が理解できるように明確に記載すること。
- ・様式5の受理をもって、申請時の単位として細則第3条1）の（2）症例・事例報告の4単位が取得できる。
- ・『老年歯科医学用語辞典』（第3版. 2023年発刊）に準拠し、作成してください。

OHASYS



<研修単位管理システム(OHASYS)の大会等参加履歴>

<https://ohasys.net/login>

上記サイトにログインし、学術大会参加歴もしくは本会研修会参加歴のうち、本申請に該当する参加歴が示されている内容を PDF 等で出力してください。

「大会等参加履歴」に表示されている単位は歯科医師の更新単位です。

認定歯科衛生士は下記に置き換えてカウントをしてください。

(1) 本会学術大会 5 単位

(2) 本会主催の各種研修会 4 単位

直近の参加歴 14 単位以上が確認できれば、必要以上に過去に遡る必要はありません。

研修単位管理システム（OHASYS）の「大会等参加履歴」に含まれない参加歴を加点する場合は様式6に必要事項を記載し、該当する参加章（PDF）も提出してください。

<様式7>

著者名（発表名）は、すべての発表者氏名を記載し、申請者氏名に下線を引いてください。

<日本国歯科衛生士免許証（写し）>